

1G型インペラ



ファン製造販売部

〒359-1127 埼玉県所沢市星の宮 1-13-27
TEL:04-2922-5061 / FAX:04-2922-5360

URI : www.yashima-h.co.jp

E-mail:mw@yashima-h.co.jp
本社：東京都中央区築地 2-11

GEAグループの一員にして、製氷システムの世界的なメーカーであるGEA。ジネクラス社（本社・フランス）も、今回の中国制冷展2009に出展、製氷装置、フレーキアイス製氷機などを中国ユーザーにアピールした。

GEAグループは、ドイツはボーフムに本社を置き、その企業規模は、世界50カ国250社以上に及ぶ。その事業領域は、食品、化学、石油化学産業、医薬品および化粧品産業と多岐に渡り、HVAC&R技術は、同グループにとつて中核の1つに数えられる。GEAグループの一員たるジネクラス社は、

GEAグループの製氷技術を中心とした低温設備開発・トータルエンジニアリングで世界的に知られており、手掛ける製品、エンジニアリングとしては、製氷機、フレーキアイス製氷機、水蓄熱システム、水圧碎氷装置、同コンベヤシステム、アイスハンドリングツール、人工雪製造装置、碎氷貯蔵タンク、冷凍凍結乾燥プラントおよび装置、工業用凍結乾燥プラント、冷凍凍結乾燥プラントおよび製氷プラントなどが挙げられる。我が国においては、柴田熔接が工場（社長：柴田勝紀氏、本社・福岡市南区塩原3-13-16）がパートナーとして、シップを結び、同社を通じて、技術・製品の普及が進

められている。アジア・パシフィックディレクター、アラン・ブランドンカール氏は「一般的に、ブランズを基盤とする企業が、欧州を拡大するには困難な事業を拡大するには困難なアジア——とりわけ中国で、が伴う。当社の場合は、魚や肉などの冷蔵、コンクリート冷却、人工雪製造装置など、世界に通用する幾つかの得意分野を持つており、これに特化することを基本戦略としている。昨年の独チルベンタ開催以降、世界経済は、米国金融危機を端緒としたりセッションに突入しているが、中国経済に関しては、率こそ幾分鈍化しているものの、引き続き成長を続けている。た

国、台湾、日本のパートナーと連携を強化しつつ、技術訴求型のビジネス展開で市場を切り拓いていく考え(ちなみに現在、中国においては、GEAグループの「ジムコ」「ユニテック」「GEAグラッソ」系がそれぞれ1社ずつ代理店を持つ)。ノウハウと実績を持つ冷凍冷蔵システムのトータルマネジメントを前面において、成長市場での事業拡大を目指していく方針だ。

G E A グループの
ジェネグラス社

フレーケアイス製氷機を提案

会場では東アジアのパートナーも多数参集

海立集團の上海
団 股份有限公司
上海市)は、今年
昌にエアコン用コ
サの新工場を完成
させた。これによ
り同社の生産能力
は、年間約600
万台分増強された
ことになり、中国
のエアコン用コン
プレッサ工場とし
て、最大手の広州
美芝設備に次ぐ
業界第2位のポジ
ションを堅持した
ことになる。

同社のエアコン
用コンプレッサ販
売量は、年間約1
130万台。この
80%が、上海日立
国内のエアコン(工
場向けとなつて、

海立(本社・集
4月、南・
上海海立
エアコン用コンプレッサ生産

エアコン用コンプレッサ生産

上海海立

4月に600万台／年の能力増強

ついては、主に日立
イアンスの海外拠点
としており、輸出先
はブラジル、マレー
シア、インド、
台湾などとなっ
てある。

レシプロ機からスクリューミル、スクロール、自然冷媒搭載機までフルラインナップし、ワールドワイドに展開する圧縮機の総合メーカー、ビツツァー社は、中国の現地法人であるビツツァー・リフレージレーション・テクノロジー（中国）社（本社・北京市、以下、中国社と略）が、制冷展に参加した。展示会では、同社が中国市場で特に強みを持つ、輸送機械、食品工場、一般工場向けの各種ソリューションをアピールした。

車載用冷凍装置、食品工場向け低温関連装置、一般工場向け低温関連装置などを主として、車載用冷凍装置では中国国内シェアの85%を、産業用低温設備では同60～65%のシェアを有するといふ。

で貢献続く
一方、HVAC&R分野の展開で実績を重ねつづける。

特に現在は「経済発展とともに、需要が高まる」コールドエーン関連市場での事業拡大を重要な課題と位置づけ、シルヴァイン・グリー・ロダクトマネージャー）取組みを強化している。

◆

ピツィアーグループのグーバル戦略においては、経済発展が著しい中国での事業大と共に、圧縮機の一大市

る日本でのプレゼンス強化も傾注。日本市場では、ツアーバスを通じて産業冷熱（低温）分野を中心に市場浸透を加速中。市場でのピッターブラは、車載用冷凍装置や産業機器を中心に先行導入。近では、国内市場でも高温暖化防止をはじめとする環境保全に関する社会を追い風としつつ、自然媒体を搭載した圧縮機の供給差別化戦略として打ち出している。

ヒックに主と申日本をドンドラ冷熱機器を通じての地元を請け合ふる最まるの地元を請け合ふる。また最近では、環境試験装置メーカーから得たマイナス80度Cの極低温環境を創出する熱源機の引き合いを通じ、自然系冷媒となるエタンを利用したレンジプロ機を提案するなど、特殊・専用用途へのアプリケーションにも強みを發揮している。自然系冷媒では炭酸ガス(CO₂)圧縮機のアプリケーションとし、恒温恒温装置や超低温二元装置(低段側に使用)など、複数の引き合いを獲得、一部は納入実績へと結び付けている。



ジオラマ 3 番の 2 次

エネグラス社の
接工作所は、熱
いフレークマ
イスを製造で
きるとして、漁協市場を由
心に定着が進
む。同社は、GEAジエヌ
グラス社の世
界的なネット
ワークを活用
しつつODA
(政府開発援
助)案件にも
参画し実績を
広げつつあ
る。GEAジ
エネグラス社

庫を受注、0909年秋に竣工する。また、09年度の製氷冷蔵関連のODAでは、ゼネコン等からの引き合い、発注が複数予定されている。同社は、機器・部品調達のみならず、GEAジャニククラス社とパートナーシップを結んだことをはじめ、市場情報の交流等で海外企業との連携にも注力していく。今回の中国制冷展では、柴田社長もGEAジャニククラス社の出展に併せて参加、中国を含めた東アジア各国のGEAジャニククラス社のパートナー企業とのコミュニケーションを深め、新たなビジネスチャンスの萌芽を探つていった。

強化に向けた情報発信
う1つは、開催地の立派な
交通インフラの良さをアピ
リケーションした、東アジア各国の
客、そしてパートナーの
コミュニケーションを充
て」と説明する。
東アジアにおける同社

ナ一間で積極的に活用しあうことで、パートナーを含めたGEAジエネグラフグループ全体、個々のパートナーの技術力、ブランド力、スキルのボトムアップに繋げようという狙いがある。

守サービスを含めたコスト対応力の強化、使用言語を含めた現地折衝の円滑化などを狙いとしたもの。この策は奏功し、西アフリカの水産市場を対象にした案件では日産4tの製氷・貯氷庫は2基のほか、2部屋の冷蔵庫